

# またみ報

# '64.10

No. 15

発行 三股町  
編集 総務課

## 今月の納税

今月は県町民税第三期を納める月です。早めに準備して納期限までには皆んな完納いたしましょう。



アジヤで  
はじめ  
ともる火

平和と美の世紀の祭典、全世界の若人の血わき、肉おどる力と技の競演、オリンピック東京大会は愈々一〇月一〇日に幕は切っておとされます。  
期待と昂奮と歓声のうづまく、主競技場に、炎々と燃え続ける聖火は、全人類の平和と繁栄の祈りをこめて、はるばるオリソピアの聖地から若人達の手によって運ばれたのでありますが、アジヤではじめてともるこの聖火の国内第二コースは、日本のふるさと宮崎を起点として、去る九月一〇日出発、厳しゅうと華麗の中にリレーが続けられております。

## 聖火をかゝげて

### 国道十号線を駆ける

谷口斌夫君等二三名

宮崎、延岡間の第四三区を受けもった、三股町の聖火リレー隊は、正走者谷口斌夫君等二三名、右に神武天皇御東征ゆかりの地、美々津の海岸を望み、左に秀峰尾鈴の連山をおおぎ見る日向市美々津の国道十号線を、日の丸のはた、はた、そして又、はたのうづまる大歓声の中に、約一、三Kに亘って、さっそうとひた走り、無事その大任を果しま

した。  
かゝげるトーチも高々と輝やく炎、たなびく白煙はこと更にこうごうしく、此の火が全人類の見守る中に東京オリンピック会場に平和のシンボルとして燃え続けるわけですが、我が三股町の若人も此の火をかかげて永遠の理想の火として心の中に燃え続けることでありましょう。

## 奮って自衛官に

### 志願しよう

防衛庁では昭和三十九年度第三次自衛官募集を実施しております。

募集人員  
二等陸士 四、五〇〇名  
二等海士 四五〇名  
二等空士 七〇〇名  
募集期間

## 10月の主な行事

- 1日 田上保育所入所式  
三股小鉄筋校舎、社会体育館工事着工  
妊婦検診
  - 2日 北諸県郡社協大会  
集団栽培推進座談会(寺柱)
  - 3日 定例教育委員会
  - 4日 各小学校運動会
  - 5日 秋季清潔検査  
婦人連絡協議会
  - 6日 身体障害者総会  
仔豚コレラ予防注射
  - 7日 第16回農業委員会(轟木)
  - 8日 町民体育大会
  - 10日 集団栽培協議会(今市)
  - 11日 大野保育所運動会
  - 12日 集団栽培協議会
  - 13日 交換分合計画委員会
  - 14日 公民館長会議
  - 14日 繁殖障害牛検査
  - 15日 妊婦検診
  - 16日 仔豚コレラ予防注射
  - 20日 農政部会
  - 22日 県有貸付乳牛検査
  - 23日 県社協大会(宮崎)
  - 26日 健康相談  
仔豚コレラ予防注射
  - 28日 公明選挙話し合い(東原)
- 昭和三十九年一〇月一日より一二月末日まで  
尚詳細については町消防係か、二宮邦彦、今村重孝両氏の募集相談員にお問い合せ下さい。

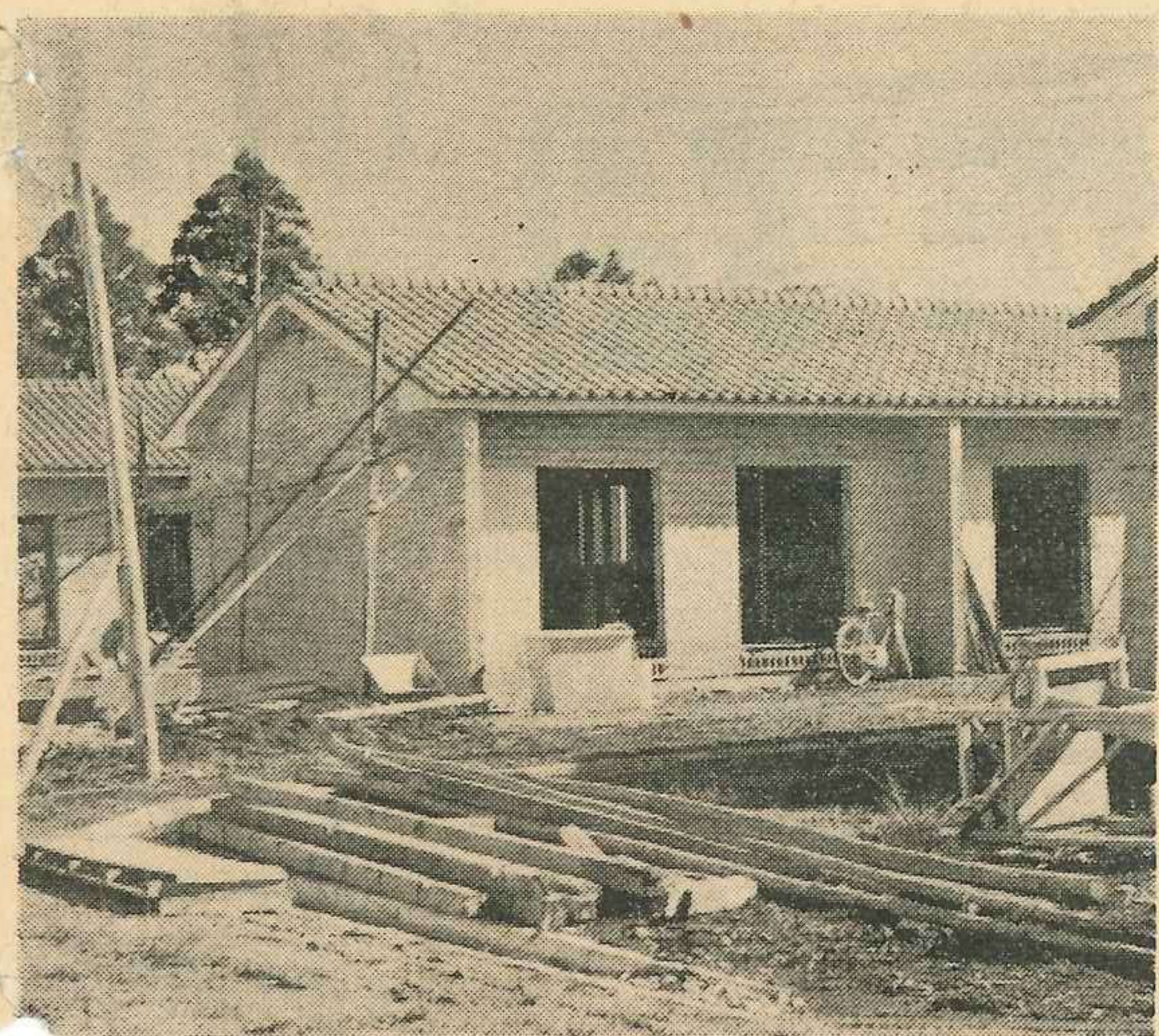


町営住宅

今年も三六戸を建設

一二月には完成

現在本町には町営住宅二二戸、県営住宅一四戸があります。毎年約四倍の入居希望が殺到し、その入居者決定に腐心しております。この住宅難解消に、更に今年度も工事費一、六〇〇万円をもって、中央団地に一二戸(木佐メ組)、塚原団地に一六戸(大重組)、菱池団地に四戸(淵脇組)、長田牧野団地に四戸(淵脇組)計三六戸の町営住宅の建設を一月完成を目標に

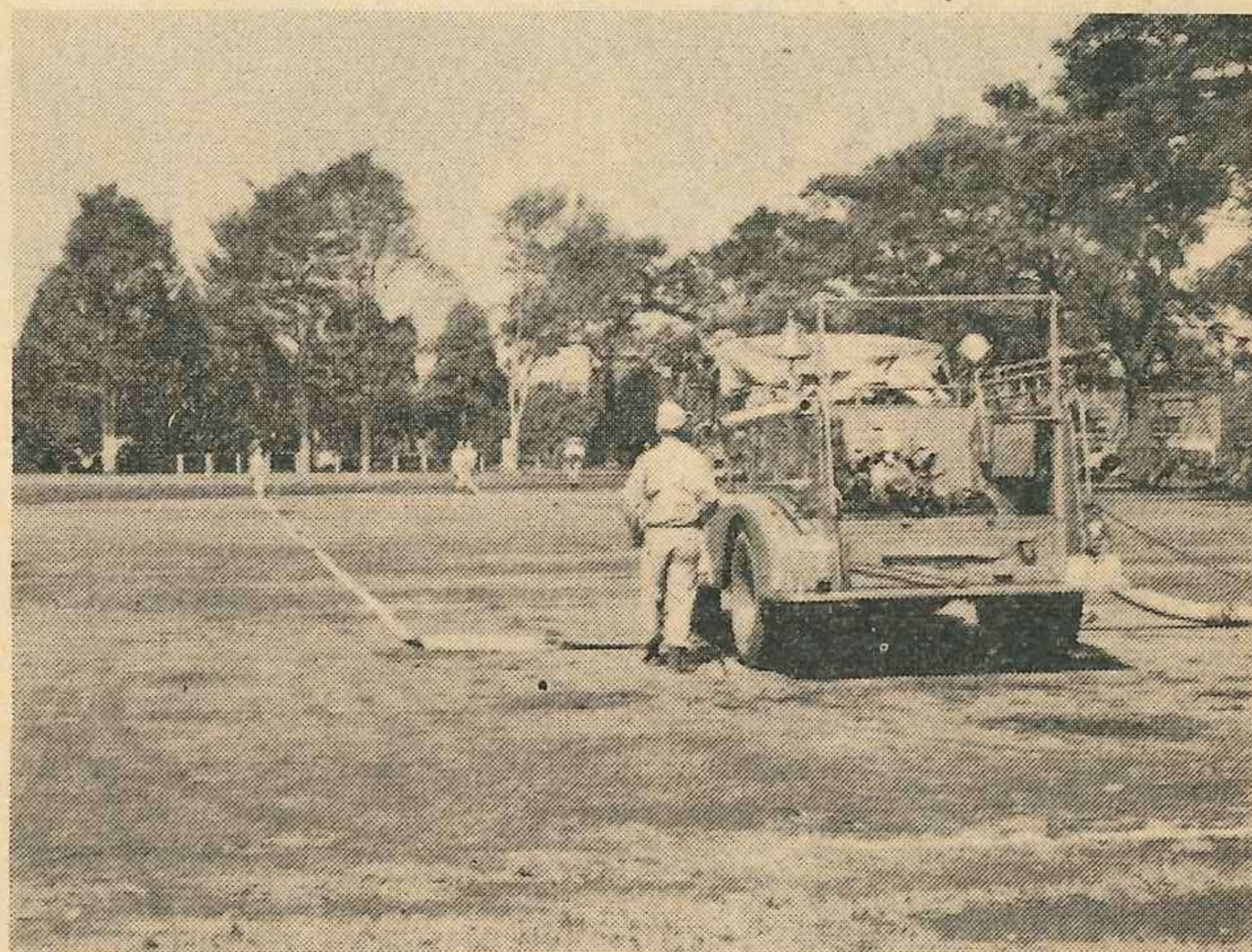


完成を急ぐ中央団地

その工事に着手いたしました。此の住宅は第二種簡易耐火構造で一戸当り九・五坪六畳、四・五畳各一部屋、炊事場、風呂場の設備も完備されて、家賃は一、八〇〇円程度が予定されております。

すでに入居希望の申込みを受けておりますので、入居希望者は早めに建築課に申込んで下さい。

我が消防の備え・うれいなし



士気大いにあがる

町消防団

第六回 消防訓練大会

私達町民の守りとして、町消防団においては、重久団長統率のもとに、常に犠牲的精神を堅持しながら、その訓練に励んでおります。その成果を示す、第六回消防訓練大会が九月一四日、三股小学校庭において行われました。各部精鋭四八名、残暑が厳しい炎天下のもとに、日頃訓練の規律と技をきそい

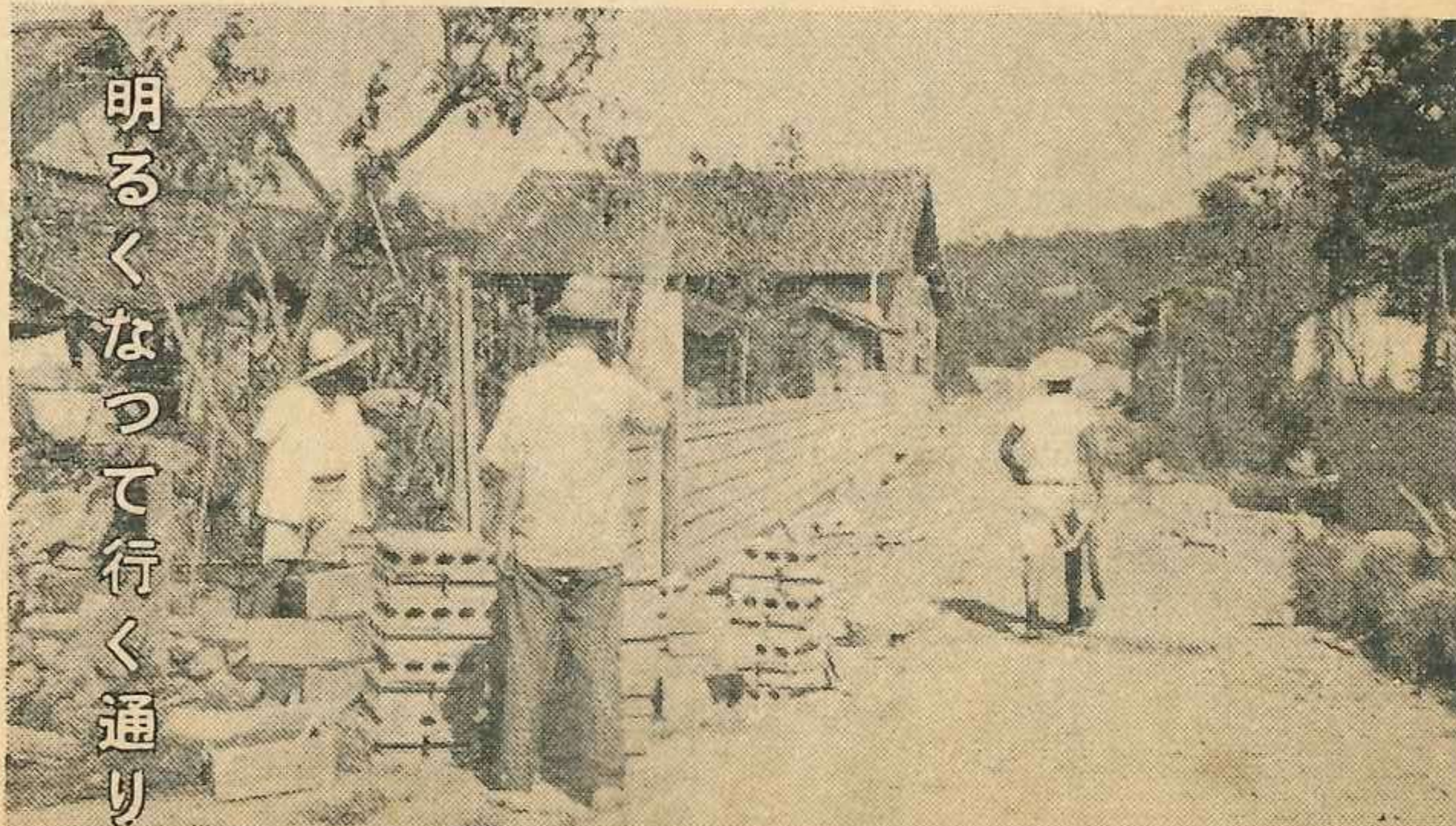
ました。一秒を争う、迅速果敢な秩序ある行動と機械操作は日頃のはげしい訓練の程がうかがわれ、ク備えあればうれいなしと見守る観衆をたのもしがらせました。採点の結果、成績は次のとおりでした。

- 一等 第二部 第二班
- 二等 第二部 第一班
- 三等 第六部 第三班

やぶを切り開いて 明るい環境を築こう

これは私達の健康に最も大切な日光を遮断し、通風を悪くし、そして、つもと、じめくとして、あらゆる病気の原因となりま。今町内の各地においては、新生活運動の一環として、台所、便所改善と共に、これらの悪い環境の掃に乗り出しております。特に今市、中米、菱池、前目部落等においては早くから、部落ぐるみで、その環境を整備して、見違えるような明るい部落に生まれ変わっております。

明るくなつて行く通り



尚この一、二位のチーム並に本部(自動車)は市郡大会に出場、第二部、第二

我が最良の日

おとしより 大喜び

老人の日

三股町には八〇才以上のおとしよりが一六二名(男五八名、女一〇四名)おられ、内九〇才以上の高令者が一三名(男二名、女一名)おられます。

町においては九月十五日老人の日にこれらの方々の多年にわたる労苦をねぎらい、その長寿をお祝い申し上げるためにそれぞれ記念品を贈呈いたしました。

最高令者は

九四才の 桑木イワさん 桑畑ナヲさん

最高令者は本の桑木イワさん(上米)と桑畑ナヲさん(山王原)です年とつて九四才



祝福を受ける桑木イワさん

が共に明治三年の生れで、桑木さんの方が四カ月の先輩です。例年にならって、今年も最高令者の桑木さんを町長が直接お伺いして、その長寿をお祝い申し上げました。が「まだまだ高城あたいたずら、行つがなんざ」と意気が

長いきや、せねや

ならんもんじゃ

傾ける杯も楽し

各地区に敬老会

今年度は地区公民館の制度化により、第一、第二、第七地区公民館においては地区公民館ごとに、その他においてはそれぞれ部落毎に敬老会が盛大にもよされました。久しぶりの再会に、互いに健康を喜び合い、或いは

保育園児の肩たたきに

目を細める大鷲巣敬老会

大鷲巣部落の老人クラブは「大いに希望をいだいてこれからの人生を楽しもう」とその名も「みどり会」と名付け、総勢四六人、会長山元重信さんを先頭に活潑に活動しておりますが、九月十五日のこの良き日を「何んか、よかつて、有意義にすごしまんそか

忌明け付

故森ツルエさんの忌明けにあつて、森長男さんから三千元を、故嘉藤ハツさんの忌明けにあつて、嘉藤重

十月から急行日向が

三股駅に停車します

本号から「駅だより」を掲載させて頂きます。憩のつれづれに御覧願えれば幸いです。

駅だより

先ず私達の関心の一つ、十月一日より列車ダイヤの一部改正が行われました。特に注目されますことは都城発京都市急行列車、日向号が三股駅にも停車することになりました。発車時刻は十二時三十九分です。

明治紡績の皆さん ほんとうに有難う

遠く異郷の地にあつては我がふるさとを、こよなく懐しく、寝ても、さめても想うは我が父、母のおおす故郷でありましょう。たくましく、日々移りゆく郷土の姿を唯一の喜びとし、誇りとして一生懸命働いている大阪の明治紡績の皆さんにおどり出し「ああ、きゅは、まこち、よか日じ



採算のとれる

農業経営を

戦後、或る期間において農産物はいくら作っても、どんだん売れて、値上りから値上りを続けて、いわゆる農村の黄金時代がありま

これからの農業は 集団栽培による協業化で

経済課

したが、このような需要に對して供給が追いつけない時にあっては、農家はただ増産一途にうちこんでおればよかつたわけです。しかしその後我が国経済の好転と共に第二次、第三次産業の急速な成長にひきかえ、農業は旧態依然とし

て、その進歩がなく、今日においてはすでに他産業にとり残される破目にたぢいたつております。

そこでそのおくれに追いつく為には、ただ増産だけでなく、市場へ出しても充分採算のとれるような、もっと、もうかる農業経営をしなければなりません。

機械化省力化で

生産費の節減を

充分採算のとれる農業経営をする為には、農業経費である生産費の節減を知らなければなりません。

統計によりますと、農業生産費の中で、労働費が五〇%、肥料費が一八%と共に大きな比重を占めております。

したがって生産費の節減をはかるには労働費と肥料費を節約しなければなりません。特に生産費の半分を占める労働費の節減については、今日の労働力不足と相まって、農用機械施設の近代化、農作業の省力化更に進んでは協業化が絶対に必要となつてまいります

生産費の節減は

零細経営では無理

そこで農用機械施設の近代化による省力作業は零細な農業規模では充分

効果を發揮することは出来ませんので、どうしても経営規模の拡大をはからなければなりません。

機械化、省力化の先進国の例をとつて見ますと、アメリカにおいては農家一戸当りの農地面積が一八町歩、カナダにいたつては実に二一五町歩、イギリス三六町歩、フランス一七町歩、イタリア九町歩、西ドイツ八町歩、あのせまいデンマークが一六町歩、山国スイスが一一町歩ということでありすが、それにひきかえて日本はわずか一町一反であります。私達の三股町はどのくらいかと申しますとわずか七反歩で、それこそ零細農業であります。

米作或いは畜産にいたしましても、経営規模の大きい程、生産費が安くなり、収量と収益も大きくなっていくことは明らかであります。

団地ごと

集団栽培を

しかし、だからと言って零細農業を営んでいる私達農民が、今ただちに土地の購入や、借入れなどして規模の拡大を大幅にはかるといふ事は、そう簡単に出るものではありません。それではどうしたらよいのだろうかという事になつ

てまいります。それは私達が個々ばらばらでは勿論生産規模が小さいので、その団地をうって一丸とした一つの生産体とすれば、大きな経営規模による生産が可能となつてまいります。即ち一団地を大きな生産組織体として、機械の共同利用による作業の能率化、生産技術の向上と生産費の節減を図るといふ、いわゆる集団栽培であります。

これが即ち採算のとれる農業実現の方法であります。現に水稲の集団栽培を実施している長野県の実績を見ますと、集団栽培を実施したために、従来の個人栽培に比較して、

- ① 労力が少なくなった
  - ② 肥料代が少なくなった
  - ③ 収量は年々増収となつていく。
  - ④ 米の品質が良くなった
- という報告がなされております。

三股町は 一集団、二〇町歩の 集団栽培が最適

そこで本町においては、その対策として、さきに三股町集団栽培推進協議会を結成し、各公民館単位に説明会を開いておりましたが、その要旨を述べますと、一集団二〇町歩を単位として



工事は急ピッチ

山王原 上米原 舗装工事に着工

十二月末完成予定

町役場前より、上米部落に通ずる町道山王原、上米線は、本町の南部、第二、第三地区公民館に通ずる重要路線であります。産業道路として、域内は通学、通勤にその交通量はひんぱんを極めて、昨年度地域住民多年の願望が突つて、延長四五八米、巾員五米を十一米に拡張して大いに喜ばれ

目下十二月末完成をめざして、工事は急ピッチで進められております。

ります。

起↓田植↓施肥の改善 (土地調査をおこなつて合理的な施肥を行う)を 集団共同作業でやろうといふものです。 ② 飼料の集団栽培、甘しよの集団栽培を計画してお

私達農民は時世の方向をよく見きわめて、進んでこの集団栽培に参加し、お互いに研究しながら採算のとれる農業へと進もうではありませんか。